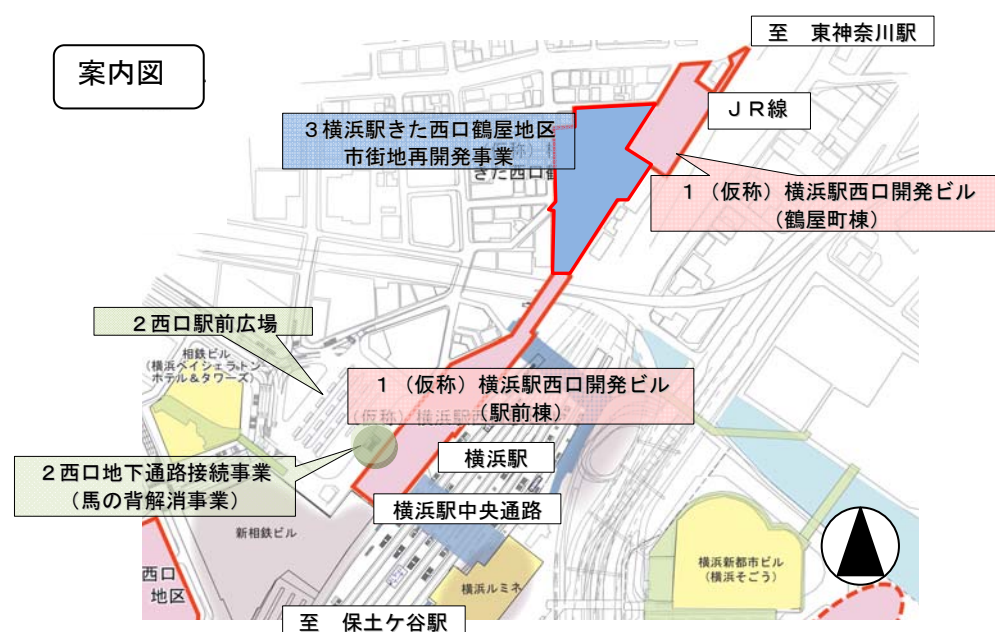


平成 27 年 9 月 16 日
建築・都市整備・道路委員会資料
都市整備局

横浜駅西口のまちづくりについて

横浜駅周辺については、平成 21 年に策定したエキサイトよこはま 2 2 計画にもとづき、まちづくりを推進しています。特に西口については、昨年度「(仮称)横浜駅西口開発ビル計画」等の都市計画決定を行い、今後工事等が進展しますので、現在の西口の開発状況と今後の進め方について報告します。

- ① (仮称)横浜駅西口開発ビル ⇒ 10月19日着工式
- ② 西口地下通路接続事業(馬の背解消事業) ⇒ 8月19日着工
- ③ 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業 ⇒ 国家戦略住宅整備事業の内閣総理大臣認定に向けて手続き開始



1 (仮称)横浜駅西口開発ビル計画

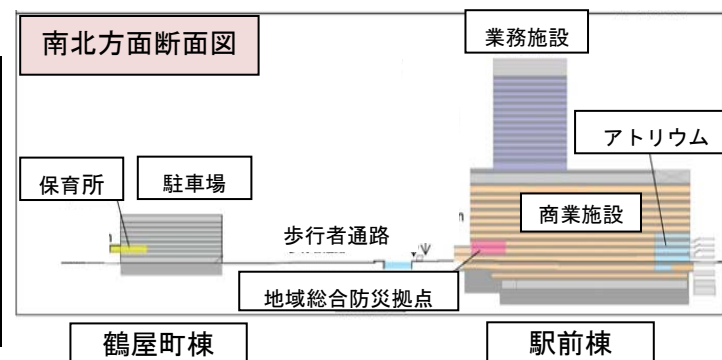
(1) 事業概要

横浜駅周辺エリアの集客拠点の一翼を担い、エリア価値の向上に寄与する商業施設を整備するとともに、駅直結の利便性を有し、国際競争力の強化に資する業務施設を整備します。また、国際都市横浜の玄関口にふさわしいアトリウム空間の整備や地域総合防災拠点等を整備します。

現在は、駅前棟について、建築行政手続き(構造等の性能評価)を進めています。

【計画の概要】

	駅前棟	鶴屋町棟
事業主体	東日本旅客鉄道(株)	
用途	商業施設、業務施設等	駐車場、保育所等
敷地面積	約 8,700 m ²	約 5,000 m ²
延床面積	約 98,000 m ²	約 24,000 m ²
階数	地上 26 階 (建築基準法上 30 階)、地下 3 階	地上 9 階
高さ	約 135m	約 31m



(2) 今後の進め方

平成 27 年 10 月 19 日 着工式
平成 30 年度 鶴屋町棟工事着手
平成 32 年 工事竣工 (東京オリンピック・パラリンピックの前に開業予定)

2 西口開発ビル計画に関連する公共施設整備 (西口地下通路接続事業(馬の背解消事業)、西口駅前広場改修)

(1) 事業概要

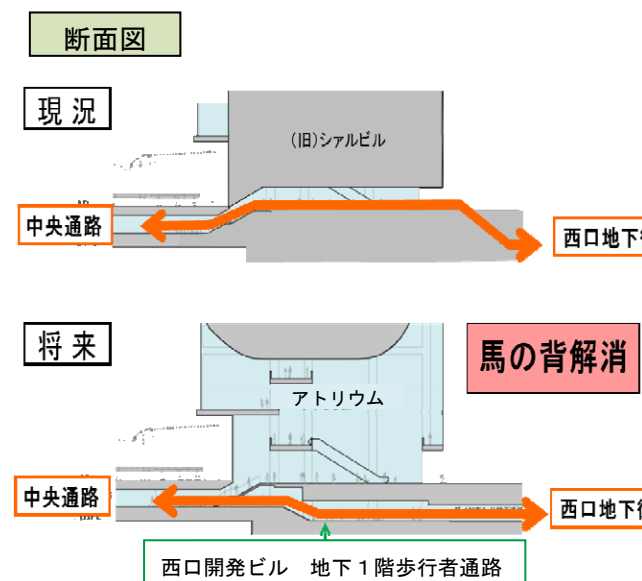
横浜駅中央通路と西口地下街を西口開発ビル地下 1 階を介して接続し、鉄道とバスとの乗換え利便性の向上を図ります。西口地下街の通路延伸工事については、地下街施設管理者である、(株)相鉄アーバンクリエイツが行います。

この事業は西口開発ビルと一体的に整備するものであり、西口開発ビルとの工事スケジュール等の調整が整いましたので、平成 27 年 8 月 19 日から工事に着手しました。

また、西口開発ビルの完成にあわせて、ゆとりある歩行者空間と魅力的な緑化の整備に向けた西口駅前広場の改修計画について、検討を進めています。

(2) 今後の進め方

平成 32 年 馬の背解消事業完了
駅前広場改修完了



3 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業

(1) 事業概要

利便性の高い立地特性を活かし、グローバル企業誘致に不可欠な都心居住促進のための国家戦略住宅を整備するとともに、商業・宿泊など多様な都市機能を集積した土地の高度利用を図ります。また、横浜駅きた西口から直結される歩行者デッキ等により、歩行者環境の整備を図るとともに、交通広場としてタクシー乗り場等を整備し、交通機能の向上を図ります。

再開発準備組合が計画案の検討を進めてきましたが、今後、国家戦略特区に必要となる行政手続きについて、国と調整を進めます。

【計画の概要】

施行者	横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発組合(予定)
用途	住宅、商業施設、ホテル等
区域面積	約 0.7ha
敷地面積	約 6,650 m ²
延床面積	約 80,000 m ²
階数	地上 44 階、地下 2 階
高さ	約 180m

(2) 今後の進め方

平成 27 年 12 月頃 国家戦略特区区域会議
平成 28 年度当初 国家戦略特区区域計画の内閣総理大臣認定
平成 29 年度 事業計画(再開発組合設立)認可
権利変換計画認可
平成 30 年度 工事着手
平成 33 年度 工事竣工

